



Sun™ Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire™ ミッドレンジシステム ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-4010-11
2005 年 8 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, docs.sun.com, Sun Fire, および Sun Management Center は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Management Center 3.5 Version 6 Release Notes for Sun Fire Midrange Systems Part No: 819-0794-12 Revision A
-----	---



目次

このリリースでの新機能	1
サポートされるシステムと環境	2
推奨パッチ	3
アドオンソフトウェアの入手	4
マニュアル	4
全般的な情報	5
自動診断と回復機能から報告がない	5
CLI コマンドを使用したホットスワップ操作	5
判明している問題点	5
SB スロットが空のとき、物理表示および論理表示に入出力ボード情報が表示されない	6
アップグレード、再インストールでプラットフォーム情報が維持されない	6
ESDIR を変更すると、物理および論理表示の更新が鈍くなる	6
プラットフォーム管理モジュールによって誤ったフェイルオーバーアラームが生成されることがある	6
「プラットフォームシャーシ」テーブルに誤ったスロット量が表示される	7
プラットフォームスロットの「CPU ボード」テーブルに誤って unknown というテスト状態が表示されることがある	7
実際には、エージェント更新が成功したにもかかわらず、Failed と報告される	7

ネットワーク接続の回復後、プラットフォーム管理モジュールによって不定な状態のアイコンが表示される 8

データ取得テーブルに判読不能なタイムスタンプ値 8

プラットフォーム管理シャーシおよびドメイン X の Syslog Loghosts を削除またはクリアできない 9

プラットフォーム管理シャーシおよびドメイン X のトラップホストを削除およびクリアできない 9

プラットフォーム管理スロット SC のタイムゾーンを CLI を使用して変更した場合、すぐに更新されない 10

Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ミッドレンジ システム ご使用にあたって

この文書には、Sun Fire ミッドレンジシステム用の Sun Management Center 3.5 バージョン 6 に関する情報を提供しています。この文書では次の項目について説明しています。

- 1 ページの「このリリースでの新機能」
- 2 ページの「サポートされるシステムと環境」
- 3 ページの「推奨パッチ」
- 4 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
- 4 ページの「マニュアル」
- 5 ページの「全般的な情報」
- 5 ページの「判明している問題点」

このリリースでの新機能

ここでは、Sun Management Center 3.5 バージョン 3 ソフトウェアと、今回のリリースの Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアとの間の Sun Fire ミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアの相違点を説明します。

- Sun Fire ミッドレンジシステムファームウェア 5.19.0 のサポートの追加。
- UltraSPARC® IV に CPU/メモリーボードのサポートの追加。

サポートされるシステムと環境

Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 ソフトウェアは、次のシステムに対応しています。

- Sun Fire E6900/E4900
- Sun Fire 6800/4810/4800/3800

表 1 は、Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアに必要なソフトウェアバージョンを示しています。

表 1 ソフトウェアバージョン最低要件

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
サーバーマシン	Solaris ¹ オペレーティングシステム	8 2/04 9 9/04 10
	Sun Management Center サーバーベースソフトウェア	3.5 Update 1
	Solaris 8 または 9 の場合 Solaris 10 の場合	3.5 Update 1b + パッチ 18389-07
システムコントローラ	Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.5 バージョン 6
	RTOS (Real-Time Operating System)	ファームウェアに応じた適切なバージョン
	Sun Fire Midrange Systems ファームウェア	5.18.0
Sun Fire ミッドレンジシステムドメイン	Solaris ¹ オペレーティングシステム	8 2/04 9 9/04 10
	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.5 Update 1
	Solaris 8 または 9 の場合 Solaris 10 の場合	3.5 Update 1b + パッチ 18389-07

表 1 ソフトウェアバージョン最低要件 (続き)

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
ワークステーションまたはネットワーク上の共通の場所 (コンソール階層用)	Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.5 バージョン 6
	Solaris ¹ オペレーティングシステム	2.6, 7, 8, 9, 10
	Sun Management Center コンソールベースソフトウェア	3.5 Update 1 3.5 Update 1b + Solaris 10 の場合 パッチ 18389-07

1 Solaris オペレーティングシステムは、少なくとも「End User Systems Support」のディストリビューションである必要があります。

注 – Sun Management Center サーバーおよびエージェントマシンには、同じバージョンのアドオンソフトウェアが必要です。

推奨パッチ

注 – Solaris 10 には、Sun Management Center パッチ 118389-07 が必須です。他のリリースの Solaris にも、このパッチの使用を推奨します。

s10u1_b8 よりも古いバージョンの Solaris 10 には、次の Solaris パッチの使用を推奨します。

- 119974-01
- 120182-01

Sun Management Center 3.5 アプリケーション用の、Solaris ソフトウェアパッチが提供されていることがあります。Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの最新のアップデートとこのアドオンをインストールする前に、ご使用のオペレーティング環境に必要なすべてのパッチをインストールしておく必要があります。

Sun とサービス契約を結んでいる場合は、次の Web サイトからパッチをダウンロードできます。

<http://sunsolve.sun.com>

Sun Management Center 製品の Web サイトからパッチをダウンロードすることもできます。

<http://www.sun.com/sunmanagementcenter>

Sun Management Center 3.5 の最新アップデートに必要なパッチについての詳細は、対応する Sun Management Center ソフトウェアの『ご使用にあたって』を参照してください。

アドオンソフトウェアの入手

Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアのパッケージは、次の名前の zip ファイルで提供されています。

Sun_MC-3_5_Addon_V6-GA.zip

このファイルは、次のソフトウェアダウンロードサイトにあります。

<http://www.sun.com/software/download/index.html>

「New Downloads」欄に Sun Management Center 3.5 Version 6 のリストがない場合は、次のようにしてください。

1. 「A-Z Index of All Products」をクリックします。
2. 「M」をクリックします。
3. 下方向にスクロールし、「Management Center 3.5 Version 6」をクリックします。
4. 「Download」をクリックします。
5. 「Download Center」にログインします。
6. 「Accept」をクリックしてライセンス条項に同意し、「Continue」をクリックします。
7. ダウンロードページの指示にしたがって操作します。

マニュアル

Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 の使用に関する詳細は、『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ミッドレンジシステムのための追補マニュアル』をお読みください。

Sun のマニュアルは、この URL にあります。

<http://www.sun.com/documentation/>

Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアの性能に影響する可能性があるさまざまな条件についての詳細は、『Sun Fire ミッドレンジシステム ファームウェア ご使用にあたって』をご覧ください。

全般的な情報

この節では、今回のバージョン 6 リリースの Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアの全般的な情報を提供します。

自動診断と回復機能から報告がない

『Sun Fire Midrange Systems Platform Administration Manual』および『Sun Fire ミッドレンジシステム コントローラコマンドリファレンスマニュアル』のファームウェアリリース 5.15 以降に関する説明と異なり、Sun Management Center は、ファームウェアが提供する自動診断および回復機能から報告された障害イベント情報を報告しません。

CLI コマンドを使用したホットスワップ操作

ホットスワップ操作では、Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアではなく、コマンド行インタフェース (CLI) コマンドを使用してください。Sun Fire ミッドレンジシステムにおけるホットスワップ操作の詳細は、最新の『Sun Fire High-End and Midrange Systems Dynamic Reconfiguration User's Guide』、『Sun Fire ミッドレンジシステム コントローラコマンドリファレンスマニュアル』、およびご使用の Sun Fire モデルの『Sun Fire システムサービスマニュアル』をご覧ください。

判明している問題点

この節では、Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアの今回のリリースで判明したか、その運用に影響すると思われるソフトウェアの問題点を説明します。

SB スロットが空のとき、物理表示および論理表示 に入出力ボード情報が表示されない

入出力ボード以外のすべてのシステムボードを取り外すと、物理表示からその入出力ボードの画像が消え、論理表示から、その入出力ボードのノードと対応する情報が失われます。[6290060]

アップグレード、再インストールでプラット フォーム情報が維持されない

ソフトウェアをアンインストールまたはアップグレードしたときに、プラットフォームエージェントの情報が失われます。

回避策: ソフトウェアのインストール後にプラットフォームエージェントごとに設定を再実行してください。

[6285536]

ESDIR を変更すると、物理および論理表示の更新 が鈍くなる

環境変数 ESDIR のデフォルト値は、次のとおりです。

```
/var/opt/SUNWsymon
```

この ESDIR の値を変更すると、物理および論理表示の更新が鈍くなります。
[6220399]

プラットフォーム管理モジュールによって誤った フェイルオーバーアラームが生成されることがあ る

プラットフォームエージェントによって、誤ったフェイルオーバーアラームが生成されることがあります。このエラーは、任意の 1 つの Sun Management Center サーバーのフェイルオーバーアラームを、複数のプラットフォームエージェントが受けるように登録されている場合に発生する可能性があります。このために、フェイルオーバーアラームが誤って別のシステムを参照することがあります。[6231190]

「プラットフォームシャーシ」テーブルに誤ったスロット量が表示される

「プラットフォームシャーシ」テーブルの「シャーシのスロット」プロパティに、Sun Fire 6800 シャーシの総スロット数が間違っていて表示されることがあります。ID0 のシャーシスロットは実際には存在しないにもかかわらず、その ID が誤ってカウントされるためです。[4975880]

プラットフォームスロットの「CPU ボード」テーブルに誤って unknown というテスト状態が表示されることがある

プラットフォームスロットの「CPU ボード」テーブルで、実際の CPU ボードのテスト状態値が disabled であるにもかかわらず、誤って unknown と表示されることがあります。

回避策: CLI の showboards コマンドを使用して、ボードが実際に使用不可かどうかを確認してください。[6289981]

実際には、エージェント更新が成功したにもかかわらず、Failed と報告される

Sun Fire ミッドレンジシステムドメインでエージェント更新を行った後、「ジョブの管理」でのステータスは Failed と報告されますが、実際にはエージェント更新は成功しています。

回避策: 「ジョブの管理」のステータスは無視して、そのドメインのエージェント更新のログファイル (var/opt/SunWsymon/log/agent-update.log) で、正しい状態を確認してください。

[4994784]

ネットワーク接続の回復後、プラットフォーム管理モジュールによって不定な状態のアイコンが表示される

システムコントローラ (SC) へのアクセスの妨げになるネットワークの問題をプラットフォーム管理モジュールが検出すると、SC のアイコンとともに、それが不定な状態であることを示す黒い星印 (または「スプラット」) のインジケータが表示されます。



この黒いスプラットインジケータの表示が間違っていることがあります。ネットワーク接続が回復した後も、このインジケータが残ることがあります。

回避策: 間違ったインジケータを消すには、いったんモジュールを停止して、再起動してください。

プラットフォームインスタンスが 1 つの場合

```
% /opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -l
% /opt/SUNWsymon/sbin/es-start -l
```

プラットフォームインスタンスが複数の場合

```
% /opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -y platform_instance_name
% /opt/SUNWsymon/sbin/es-start -y platform_instance_name
```

[6192909]

データ取得テーブルに判読不能なタイムスタンプ値

プラットフォーム管理モジュールのデータ取得テーブルに表示されるタイムスタンプ値が判読できないことがあります。

回避策: Sun Management Center サーバー上でいったんすべてのデーモンを停止した後、環境変数 LANG を C に設定し、デーモンを再起動してください。以下は、csh の場合の例です。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -A
# setenv LANG C
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-start -A
```

[6306955]

プラットフォーム管理シャーシおよびドメイン X の Syslog Loghosts を削除またはクリアできない

プラットフォーム管理シャーシおよびドメイン X の「ログホストの設定」ダイアログボックスから、Syslog Loghosts エントリを削除またはクリアできません。Syslog Loghosts のエントリを削除またはクリアしても、データはそのまま残り、警告を受け取ることもありません。

回避策: ありません。

[4984145]

プラットフォーム管理シャーシおよびドメイン X のトラップホストを削除およびクリアできない

プラットフォーム管理シャーシおよびドメイン X の「ログホストの設定」ダイアログボックスから、SNMP (Simple Network Management Protocol) トラップホストのエントリを削除またはクリアできません。そして警告を受け取ることもありません。



注意 – Sun Management Center は、SNMP トラップホストが設定されていないと、正常に機能しません。

回避策: SNMP トラップホストエントリは削除またはクリアしないでください。

[4984162]

プラットフォーム管理スロット SC のタイムゾーンを CLI を使用して変更した場合、すぐに更新されない

Sun Management Center は、その設計上、SC のタイムゾーンが変更された場合に、自動的にプラットフォーム管理スロット SC テーブルを更新しません。SC タイムゾーンのプロパティは、次の再表示周期が来たときに更新されます。

回避策:

1. プラットフォームエージェントを再起動します。
2. 次の再表示周期を待ちます (約 30 分)。

[4984906]